

# ひだか

HIDAKA GIKAI DAYORI

# 議会だより

第167号

平成29年8月1日



県大会ベスト8に輝いた「日高中学校サッカー部の皆さん」

行政報告……………2～4P  
 審議したこと・決まったこと……………5～6P  
 請願・陳情・議員提出議案……………7P  
 私の意思表示……………7P  
 閉会中の委員会活動……………8～9P  
 一般質問に5氏が立つ……………10～14P  
 議会日誌……………15P

# 行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

## 「地域福祉計画・地域福祉活動計画」

昨年、策定委員会で検討していた地域福祉計画・地域福祉活動計画が完成した。高齢者や障害者、子育て家庭など、何らかの支援が必要な方々が、住み慣れた地域で心豊かに暮らせる地域社会づくりが重要となっている。そこで地域福祉の総合的な計画として「地域福祉計画」を村が策定し、住民が主体となった地域福祉活動の推進や住民が相互に助け合い、支え合う地域社会の実現を目指した「福祉の村づくり」を実現する実践的な計画として

「地域福祉活動計画」を社会福祉協議会が策定したもので、今後5年間の指針となる。次に、村民のライフステージに応じた健康づくりを推進していくための「健康増進計画・食育推進計画」を策定した。この計画は生涯を通じて心身ともに健やかな暮らしを送ることは、全ての村民の願いであり、たとえ心身に障害や健康上の課題を抱えても、自分らしくいきいきと過ごすことができれば、その人にとって広い意味での「健康」であると考え、家庭・関係機関・各種団体・行政がそれぞれの役割を担いながら、地域全体で健康づくりを推進していくための指針であり、こちらも計画期間は5年間となる。

両計画とも村民にとってかけがえのない計画であり、計画に沿って実行に努めていきたい。策定委員会の皆様には大変お世話になりました。

次に、身体的な状況や交通の便などの関係で、買い物に不自由する方々のための手助けとして、買い物代行サービスを行う地域の物流等支援事業の実績は、平成29年3月までの登録人員は61人である(うち新規登録は15人)。平成28年度の利用実績は、239日820件で、年々利用者・回数とも増えています。買い物内容としては、食品・日用品が多い傾向にあります。今後も利用者の動向等も見据えながら、取り組んでいきたいと考えている。

## 化石 「サルダアツブタムシオイガイ」

本年3月23日に化石でしか発見されず絶滅したと考えられていた「サルダアツブタムシオイガイ」の発見者である香川県の矢野先生にお越しいただき、話をお聞きした。この生物は、新種として日高の地名「サルダ」を名前に付けていただ

いている。狭い範囲で繁殖する大変貴重な生物でもあり、保存していくための取り組み等についてお聞きした。石灰岩のある安定した平地で湿度を持った礫地を好んで生息していること、環境の変化に非常に弱く開発等で生息域が荒らされることが重要である等をお聞きし、日高村の自然環境

## 日高村農業 クラスタープラン

の豊かさを実感した。場所は特定できたので、今後開発等について、注視し見守っていくこととした。

日高村農業クラスタープランの進捗状況については、5月9日にイチネン農



猿田洞入り口付近



園の事務所及び次世代型ハウスの起工式が、イチネンホールディングスの黒田社長、尾崎知事、JA、地権者の出席のもと行われた。イチネン農園の事業については、本年8月より約50アールの次世代型ハウスでミニトマトの栽培を開始し、来年度に約1.6ヘクタールの次世代型ハウスと同様にミニトマトを栽培する計画となっており、30人近い雇用が計画されている。

5月18日には、JAコスモストマト選果場において、(仮称)日高第2トマト集出荷場の起工式が行われ、イチネン農園が栽培するミニトマト用の選果場が整備されることとなっている。

## 「村の駅ひだか」について

平成28年度の「村の駅ひだか」の直販所売上総額は、2億2千723万7千円で前年比115%、レジを通過した来客者数は20万7千785人で前年比108%、1日の平均では

売上額62万7千729円で前年比116%、来客者数574人で前年比108%、客単価は1千940円で前年比107%と、いずれも平均27年度を上回る好調ぶりである。村の駅ひだかの平成28年度の目標が売上総額2億円、来客者数20万人であったので、目標を達成することができた。この大きな要因は、3年目を迎

えたオムライス街道が、昨年の販売数を超え引き続き好調であったことや、特産のトマトやイチゴをはじめとする商品の充実、土曜日・日曜日などでの店頭販売の実施や「ふれあい高新in日高」などのマスコミ報道などがあげられる。村の駅さんは市出荷部会では、今後は鮮度管理に最も力を入



村の駅ひだか

れ、品質の向上を図るとともに、出荷者の高齢化対策として、定年退職者等に対する野菜作りの研修会に取り組み予定である。

## オムライス街道

について

オムライス街道3年目の平成28年度のオムライス販売数は約7万食で、2年目の販売数6万6千200食を超え、3年目の総販売数は17万食を突破した。これは、総務省の経済波及効果の算出式によると約3億円の経済効果となるようである。第4弾のスタンプリアーは、昨年と同様に11店舗で6月12日(月)よりスタートする。昨年、日下小学校で実施したキックオフイベントを、今年は村立図書館「ほしのおか」で開催する予定で、内容としてはオムライス大使や村内3保育園の年長児による「トマトの神様」の歌や踊り、オムライス広報隊員への名刺交付式、オムライス帽子やグッズ、原画等の展示を予定し

ている。今後の主な取り組みとしては、第4弾のテーマを「絵本」として、7月には「オムライス」をテーマにした絵本コンクールの開催を発表し、全国からの募集を予定をしている。

## 連携中枢都市圏構想について

人口減少・少子高齢社会化が進行するなか、中核都市である高知市と圏域市町村とが連携して事業に取り組みくことで、圏域全体の活性化に取り組みむもので、県の支援を受けながら県全域を対象とした連携中枢都市圏を目指すべく協議を進めている。

平成30年度から実施予定事業として、圏域全体の経済成長の牽引に資する事業・8事業、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に資する事業・5事業について、市町村間協議や有識者によるビジョン懇談会が行われており、今後については、8月に事業の確定がされる予定で、9月には連



携事業の全容等を示すことができるかと思う。また、同じく9月頃に高知市による市町村と連携して圏域住民全体の生活を支えることを宣言する「連携中枢都市宣言」が行われる予定と聞いている。

## 望ヶ丘墓地公園

ついで

地元望ヶ丘自治会に対する地元優先割当による申し込みの7区画を除く32区画について、3月広報ひだか及び村ホームページにて3月1日から3月31日まで、使用者の募集を行った。その結果9区画の申し込みがあり現在手続き中である。現在のところ39区画中16区画の申し込みとなっており、残り23区画については、夏頃から期間を定めず募集をし、先着順に受け付けたと考えている。

## 平成28年度決算に

ついで

監査委員の審査後、9月議会において審議をお願いしたいと思うところである。

## 日高中学校

サッカー部

ベスト8に輝く

平成29年度高知県中学校サッカー春季大会において、49出場校の中、日頃の練習の成果を発揮され強豪校を破り、ベスト8に輝く素晴らしい成績を残された。健闘を称え拍手を送りたいと思います。



望ヶ丘墓地公園

# 審議したこと

平成29年第2回定例会

# 決まったこと

H29.6.8~6.14

6月議会では、同意(人事)1件、承認6件、条例1件、議案(補正予算・その他)5件、陳情3件、議員提出議案2件を議決。

## 報告

◎平成28年度日高村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について  
翌年度へ繰り越した平成28年度日高村一般会計予算の繰越明許費について、報告するもの。

◎平成28年度日高村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について  
翌年度へ繰り越した平成28年度日高村簡易水道特別会計予算の繰越明許費について、報告するもの。

## 人事

◎固定資産評価審査委員会委員に大川啓司氏を選任することに同意した。



大川啓司氏

住所 日高村宮谷503番地  
生年月日 昭和24年5月5日  
任期 平成29年6月25日から平成32年6月24日まで

## 承認

◎専決処分の承認を求めることについて

1. 平成28年度日高村一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出それぞれ6千391万3千円を追加し、

歳入歳出予算総額をそれぞれ49億8千457万3千円とする補正予算の専決処分の承認を求めるもの。

2. 平成28年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ1千497万5千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ8億257万1千円とする補正予算の専決処分の承認を求めるもの。

3. 平成28年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第5号) 平成28年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ310万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ2億1千603万4千円とする補正予算の専決処分の承認を求めるもの。

4. 村税条例等の一部を改正する条例の専決処分

の承認を求めるもの。

5. 村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めるもの。

6. 日高村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めるもの。

## 条例

◎日高村人権尊重の社会づくり条例

日本国憲法及び世界人権宣言を基本理念として、基本的人権が尊重される社会づくりのため、同和問題をはじめとするあらゆる人権に関する問題への取り組みを積極的に推進し、もって真に人権が尊重される明るい社会づくりに寄与することを目的として制定するので、平成29年7月1日より施行するもの。



質疑

問 条例の中に「同和問題を始めとする」とあるが

これを明記することは、まだ日高村に同和問題があるとお考えか。

答 文言の使い方ですが、説明の中にはそういうふうな形にさせていただきますましたが、人権問題としての同和問題というのは、まだ存在するというふうには認識していません。

問 村長はそのように考えるかもしれませんが、これは地域改善事業も終わり、差別が改善されてきたというふうな中で、基本的人権に十分対応できない、対応言うたらおかしいですが、基本的人権の尊重をしている中で、そういう差別をなくしていくということが大事やし、こういうのを明記したらいかんというのは、永遠に同和問題を日高村に残すことになるじゃないですか。条例が残る限り。そういう考えはね、やっぱり捨てなければならぬ。

予算

(△印は減額)

◎平成29年度日高村介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ126万6千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ7億4千420万1千円とするもの。

◎平成29年度日高村一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億7千724万3千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ34億7千935万4千円とするもの。

◎平成29年度日高村民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ241万1千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ7億8千177万2千円とするもの。

◎平成29年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ18万3千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ2億6千193万8千円とするもの。

その他

◎能津辺地の総合整備計画の策定について

辺地を構成する範囲の再編を行い、平成29年度から平成33年度までの5カ年計画を策定し、いままでの名越屋・柱谷辺地、本村・大花辺地、鴨地辺地の3辺地を能津辺地に再編するもの。

問 村長の答弁であれば、計画書の別紙に書かれていないことについても、本郷・下分・岩目地であれば適用していくことになるのか。

答 そうですね、そういう事業が出てくれば、この辺地債が使えらるということであります。

質疑

問 この変更によって、村長がこれまで言ってきた

辺地債に掛からないと言ってきたようなことが、この変更によって有利な施策を受けられると



◎(継続審査) じん肺・ア  
スベスト被害根絶を求め  
る意見書の提出を求める  
陳情

提出者

2016なくせじん肺全  
国キャラバン実行委員会

代表委員 角田季代子

採決

経済建設厚生常任委員会

趣旨採択

◎日本政府に核兵器禁止条  
約の交渉会議に参加し、  
条約実現に真剣に努力す  
るよう求める意見書の陳  
情

提出者

高知県平和行進実行委員  
会

代表委員 和田忠明

採決

全員賛成 採択

◎農業者戸別所得補償制度  
の復活を求める陳情

提出者 高知農民組合

組合長 土居篤男

採決 全員賛成 採択

議員提出議案

平成29年度6月議会

◎日本政府が核兵器禁止条  
約の交渉に参加し、条約  
実現に真剣に努力するよ  
う求める意見書案

提出議員

森下雅文

賛成者

全議員

◎農業者戸別所得補償制度  
の復活を求める意見書案

提出議員

壬生豊秀

賛成者

全議員

私の意思表示

6月第2回定例会

○賛否の分かれた議案

○:賛成

●:反対

議案	氏名	戸梶章	矢野孝明	森下芳文	横山泰昌	壬生豊秀	野村重夫	森下雅文	岡本光男	西川龍子	尾崎政廣 議長	結果
議案第25号 日高村人権尊重の社会づくり条例		○	●	●	○	○	●	○	欠席	○		賛成多数 原案可決

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。

(6月第2回定例会 全会一致 17件)

※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。

# 閉会中の委員会活動報告

## 総務常任委員会



委員長 森下雅文

5月26日(金) 午後1時  
30分より

### 森下総務課長より

1. 議会休会中の主な行事4件と、6月議会への提案事項15件に関する報告を受けた。
2. 村有財産の払い下げ申請2件について審査をする。
  - ①下分字極田の青線・赤線52㎡について、40万3千202円で払い下げることとした。
  - ②本郷字西ノ越の元養豚場1千264・75㎡について、建物撤去費用を差

し引いた79万4千407円で払い下げることとした。

3. 村への私有地寄付について審査を行った。

岩目地字金林坊の防火水槽用地27㎡を、無償で村へ寄付したいとの申し出について、受け入れることとした。

### 森下参事より

企画部門に関する補正予算等を主として、地方振興総務費等について報告を受けた。

### 川村住民課長より

差し押さえ不動産と動産の公売について、報告を受ける。補正予算専決処分1件と条例改正専決処分3件について報告を受けた。

### 井上教育次長より

村立図書館の新築1周年記念イベントについて、また、日独スポーツ少年団同

時交流事業についてと補正予算に関する報告を受けた。

### 片岡教育長より

能津保育園移転先の検討状況について、報告を受け

た。委員からは、地元の要望に沿い、熟慮して移転先を決めるべき等の意見が出された。



現在の能津保育所

## 経済建設厚生

## 常任委員会



委員長 壬生豊秀

5月29日(月) 午前10時  
より

### 松岡健康福祉課長より

1. 平成29年度総合健診を5地区で実施。特定健診の受診者352人、受診率32・5%。その他、後期高齢者医療の被保険者172人。今後も、受診勧奨に協力願いたい。
2. 3月より認知症カフェが始まった。開催日と場所は、偶数月の第2水曜日の午前10時から12時がコスモスの里、奇数月の第2金曜日の午後1時30分から3時がグループホーム日高となっている。参加費は、一人200円となつて



- 3. 6月17日に、ふくしふれ愛運動会を、日下小学校体育館で開催予定。
- 4. 8月15日に、平成29年度日高村戦没者追悼式を福祉センターで開催の予定。
- 藤田産業環境課長より
- 1. 5月9日に、イチネン農園の事務所及び次世代型ハウスの起工式が関係者出席の下に挙行された。



完成が近い「次世代型農業ハウス」

- 成28年度の目標を達成できた。
- 3. オムライス街道は、3年間の総販売数が17万食に達した。
- 4. 望ヶ丘墓地公園の使用が募集結果は、9区画の申し込みがあり、手続き中である。残りの23区画については、夏頃から先着順に受け付けをする。

- 大川内建設課長より
- 1. 国土交通省所管内容について
  - ① 江尻妹背峠線の工事用道路拡幅工事については、8日間程度の夜間工事も含め延長760m区間を株式会社晃立にて、平成29年9月29日の竣工を目標としている旨の報告を受けた。



委員長 戸梶 章

### 日高村治水対策特別委員会

- 大川内建設課長より
- 5月23日に、第1回仁淀川床上浸水対策特別緊急事業検討部会が開催され、計画の妥当性及びコスト縮減対策等についての検討が行われた。

- 2. 高知県所管内容について
  - ① 残土処分場工事については、契約済みの「場」
  - ② 日高村保険センターにて平成29年5月29日・18時30分より、「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業」に伴う、新規日下川放水路の呑み口部の工事計画説明会を関係地権者と田福・大川内・石田・長崎・鍛冶屋南の各自自治会を対象に開催する予定との報告を受けた。



進む残土処分場整備工事

- ② 日下川護岸整備工事については、平成28年度は日高村岩目地竜石地の延長72mを完成させた。平成29年度は昨年引き続き、左岸下流側の212m区間の工事を発注したとの報告を受けた。
- 内調整池工事」及び「場内水路工事」は順調に進んでおり、残る「場内暗渠排水工事」は、6月中に発注する予定との報告を受けた。

一般質問に5氏が立つ

核兵器  
禁止条約



野村重夫議員

平和市長会議  
質問 2016年8月4日

に日本原水爆被害者団体協議会(被団協)から平和市長会議に対し、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える、核兵器廃絶国際署名の賛同協力の依頼

がありました。平和市長会議は、全国で加盟数が1千718ある自治体の1千667自治体(97%)が加盟しています。高知県で34の全自治体が加盟しており、日高村は2009年の11月に加盟しています。

核廃絶運動の取り組み

被団協によると、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名について、2016年の4月から被団協が主体となって、核兵器廃絶国際署名推進連絡会を組織して、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名が新たに開始されました。この署名運動は、核兵器廃絶の実現を目的とし集められて、署名は国連に随時提出することになっています。

平和市長会議では、核兵器禁止の条約の早期締結に向け、交渉開始を求める市民署名活動に2010年12月から取り

法的拘束力

組み、集まった署名は適時国連に提出することとされており、2015年4月にアメリカ・ニューヨークで開催されたNPT(核不拡散防止条約)再検討会議の際、会長である広島市長から国連軍縮担当上級代表とNPT再検討会議の一部に提出されています。

核兵器禁止条約が締結されるのか、6月15日から第2回の国連会議が開催されます。その中で国連会議の議長エレン・ホワイト氏(コスタリカ)は、ジュネーブの国連欧州会議で会見して、同法案の草案を公表しています。7月7日には、この条約が締結されるという運びとなっています。

この草案は、核兵器の法的禁止の拘束力あり、禁止の内容は、核兵器の開発・生産・製造・取得・所有・貯蔵・移転・受領・使用・核爆発実験等です。締約国区は、その領土と管轄地域への核兵器の配置・導入・配備などを禁止する義務を負う法的な拘束力を持った条約である

ります。  
村民の声・世界に  
(国連本部)

現在の国連署名推進連絡会議に入っている署名数は296万3千889人、そのうち日本原水協が頑張っている118万7千80人、そして市長会の首長が659人、知事が11人となっている。そういう状況の中で署名運動が進んでいます。

日高村の非核運動はどうか、昭和60年の3月15日の村議会で、非核平和都市宣言を決議しています。平成21年12月村議会で村長は、「核兵器廃絶と世界恒久平和を目指している平和市長会に加盟した。全国の自治体と核兵器の廃絶のため手をとっていきましょう」と報告しています。

この年の夏に行われた日高村でのNPT署名は、1千300人を超えています。国連本部に日高村民の声が届けられました。

平和市長会議は、被爆者国際署名に賛同協力することになりました。村として取り組みを聞く。

答弁 谷本副村長

日高村も2009年11月2日に平和市長会議に加盟しています。

2020年までに核兵器廃絶を目指す2020年ビジョンと、核兵器廃絶のための緊急行動を策定して、国際世論の喚起や核兵器保有国等への働き掛けなど、さまざまなキャンペーンを世界的に展開していくというような方向付けをしているところ、ともに核兵器のない平和な世界の実現に向けて取り組んでいただくと、そういうことを期待しているというメッセージも日高村にいただいている。この方向に沿って取り組んでいく。

その他の質問事項

- ピキニ被災問題。
- 子どもの貧困対策について。
- エコサイクルセンターについて。



# 新入学児童 生徒に安心を



西川龍子議員

**質問** 国の就学援助費の入学準備金が補助金交付要綱の文言の変更により、来年から入学後の支給が入学前に支給される。補助額も約2倍に増額され、小学校で一人当たり4万6000円、中学校で4万7千400円となった。日高村の小中学校の新1年生への支給時期と対象者数は。

**答弁** 井上教育次長  
新入学児童・生徒への入学前支給が決定した。日高村在住の要保護児童

は、中学校で1人、小学校予定者は0人で、3月1日支給と中央西福祉事務所より聞いている。要保護児童・生徒については、申請後課税状況の確認等を行う必要があり、人数の把握はできていないが、例年でいけば2〜3人となっており、3月1日支給に向けて準備をしていきたい。

## 赤ちゃんの 笑顔を守れ

**質問** 「赤ちゃんポスト」に、開所時から10年間で130人の赤ちゃんが預けられた。命は尊いものと誰かが思っているが、現実には望まない妊娠、出産もあり、妊娠自体に苦しむ親も多くいる。溢れんばかりの愛情を注がれ温かく包まれて育つ赤ちゃん

がいる一方で、預けられる子、虐待や貧困等、大変厳しい状況にいる新しい命があることも事実だと報じていた。高知県の昨年の出生数は、4千779人で初の5千人割れとなり、出生率も1・47に低下した。村内の新しい命、赤ちゃんには、温かい愛情に包まれ幸せに育ってほしいと願っている。村内には独自の婚姻届がある。出生届も作成し、手形足形等記念に残り成長を見守れる物を記念品として作成できないか。

**答弁** 川村住民課長  
日高村でも婚姻届と同様に、出生届を出生記念として生涯残せるように、写真、手形、足形、名前の由来、両親の思い等を記載できるように記念状を作成し、希望者の方にお祝いとして贈呈するとともに祝福したいと考えている。

## 貧困高齢者を 守れ

**質問** 高齢社会の中、村内では低年金生活で細々と生活している高齢者がいるのではないかと危惧している。村内の状況と対応策について問う。

**答弁** 川村住民課長  
平成28年中の年金収入が80万円以下の方は788人。65歳以上が加入する介護保険料の判定基準で収入が最も低いと判断される第1段階の該当者は、平成28年度末で431人おり、うち55人が生活保護の適用となっている。431人の中には、同居家族がいたり、別居家族から何らかの支援を受けている方もいると思う。

**答弁** 松岡健康福祉課長  
貧困世帯への支援策として、平成27年度より、県の委託を受けて社会福祉協議会が生活困窮者自立相談支援事業を実施。この事業は、生活困窮のみならず、地域生活上で

の困り事に対し相談や支援を行うもので、村も連携し支援を行っている。この事業で対応できない低所得者については、生活保護の申請で対応していく。また、高齢者福祉事業や介護保険事業では、利用料の減免等の支援も行っている。



# 「共謀罪」テロ等準備罪と 罪名変更だけの 治安維持法



森下芳文議員

質問 共同通信世論調査、5月22日付高知新聞に、共謀罪説明が不十分と答えたのは、77%と報じられている。その後の国会

審議を通じて国民が制定理由、内容について理解が進んだと村長は把握しているか。

答弁 戸梶村長

参議院の場で明らかにしていたら、十分に理解していただくような取り組みが必要。

質問 平成の治安維持法と比べても過言ではないと思うが村長の見解を問う。

答弁 戸梶村長

そこまでの飛躍的な考えには、至っていない。懸念されることも多くの識者の方が言われておるので、明らかにしながら透明性、公平性等含めて可視化し、それを検証していく。住民の関心の目、世論でチェックが必要。

## 村庁舎改築は 百年の計をもつて 当たれ

質問 補助金の関係で、現在地に限定と当初説明し、その後の資料では、現在地周辺と説明しているが、いずれが正しいか。

答弁 谷本副村長

現在の三つの候補地は、全て補助金の対象になる。

質問 改築に関しては、水害のないところを選定しても補助金の対象になる

方途を考えるべきでは。

答弁 戸梶村長

補助金の対象を拡げるには10年以上かかる気がする。現在地での改築について、議員の皆様とも議論しながら後世に残る建物にしたい。

## 望ヶ丘墓地公園 完売のめどは

質問 39区画中16区画申し込みがあつて、残り23区画とのことだが、完売のめどは。

答弁 藤田産業環境課長

募集要項の一部を修正して、募集期間を定めず随時募集して完売を目指したい。



現在の役場庁舎



# 村の防災対策 住家の耐震化について



森下雅文議員

所を計画している。

## 災害協定の強化を！

質問 診断を省いて、設計から始める仕組みについて検討することによって、進捗は。あつたが、進捗は。

質問 熊本地震などの教訓に照らせば、協定の定期的な点検・内容強化が必要ではないか。データベース化の見通しはどうか。支援物資の受け入れ、仕分け等について、協定に追加を検討することとどであったが、進捗しているか。

答弁 森下総務課長

## 避難所運営マニュアルの策定を！

質問 策定の進捗状況はどうか。

答弁 森下総務課長  
今後、他市町村の状況等を参考に、充実強化に取り組みたい。本年度内に、各協定を職員間で共有できる体制にしたい。県が、物資配送マニュアルの策定を検討しており、これを基に村の対応も検討したい。

## 避難路の確保のために

質問 国道33号沿いの16棟の改修について、所有者への働き掛けは行っているか。

答弁 森下総務課長

説明会等を実施したが、まだ申請等の提出はない。問い合わせは2件来ている。

## 災害廃棄物処理計画の策定状況は

質問 策定は進捗しているのか。

答弁 藤田産業環境課長

取り掛かったばかりであり、本年度中には作成する予定だ。

## 河床洗掘対策について

質問 大橋付近の河床洗掘対策の検討状況と、地元への説明会の見通しはどうか。

答弁 大川内建設課長

近いうちに国と県の協議が行われるが、それが整い次第、県において対策工の検討を行っていただく。検討が進めば、できるだけ早い時期に説明会を開催したい。

## 仁淀川屋形船周辺への着地型観光宿泊施設について

質問 施設の運営主体は、どこになるのか。設置については、ぜひ地元の理解を得ていただきたいがどうか。

答弁 森下参事兼室長

地域おこし協力隊を軸に展開する。地域の方々の協力が必要であり、問題を一つ一つクリアして進めたい。来年3月竣工予定で、来年度初めにはオープンしたい。

## 江尻親水公園について

質問 予定通り進捗しているか。遊具等の設置の見



仁淀川屋形船乗船場

## その他の質問事項

- ふるさと納税について。
- 日高村農業クラスタープラン。
- 空き家の活用について。
- 沖名踏切の改良。
- 沖名残土処理場付近の公園化。

通しはどうか。

答弁 大川内建設課長  
平成31年度までに実施。遊具等は、洪水時の撤去という課題があり、研究していきたい。

質問 平成26年12号台風による「実績浸水深」の表示済み箇所数及び主要箇所への追加表示への思いを聞く。



戸梶 章議員

# 300有余年の治水問題の解消へ!



竜石地区の「実績浸水深」表示板

質問 平成32年度に新放水路が完成すれば、日下川流域として対応可能な降雨量が増大し、本郷妹背地区などで国道やJR軌道を横断している排水構造物の断面積の不足が想定されるため、これらへの検討を進めるべきだと考えるが。

答弁 大川内建設課長  
平成28年度は、岩目地の竜石地区、本郷岡端地区、沖名の馬越地区のそれぞれに3カ所で合計9カ所の設置が完了している。また、村内の主要箇所への追加表示については、本年度も同数程度を見込んでいる。

質問 仁淀ブルーの知名度をさらに向上させるための活動方針等を問う。

答弁 大川内建設課長  
新規放水路及び日下川と戸梶川の改修が終われば、日下川流域全体の排水能力が高まることで、これらの支川の改修も必要となります。現状は、本郷岡端地区のJR暗渠部しか検討できていませんが、排水断面積の不足が想定される箇所については、今後関係機関と調整しながら対応していきたい。

## 輝き続けられる村創り!

質問 能津小学校で2年前から地元の方々を巻き込み挑戦している「全国ジャンボ大根フェスティバル」に、今年は10・7kgの大根とこれらを育てた様子を「僕らの大根」と題した寄せ書きにして出品しました。重さではベスト10位を逃したが、寄せ書きでは最優秀賞を頂き、高尾教諭は「一つの種からさまざまな命が生まれたように、大根が

答弁 藤田産業環境課長  
仁淀ブルー観光協議会の活動方針については、  
1. 仁淀川地域6市町村の知名度の向上。  
2. 観光を通じた交流人口の拡大。  
3. 地域経済の活性化。  
4. 観光産業における雇用の創出。  
5. 観光に携わる人たちが、元気になる・活気づく・やりがいや生きがいを感じる地域をつくる。  
五つのミッションを基に、さまざまな活動に取り組んでいきたい。

さまざまな学びを生み出してくれた。地域の協力も改めて感謝したい」と述べられていましたが、ジャンボ大根への参加経緯や人創りへの思いを問う。  
答弁 井上教育次長  
能津小学校は、以前から地域住民とのつながりが強く地域と学校が一体となって子どもを育む取り組みがもともと盛んな地域であります。今回のイベントも「学校がジャンボ大根」を育てるという目標に、地域住民の深い理解と温かい協力のもと、問題解決に共に汗をかき取り組んだ結果であると考えております。また、日高村では学校と地域が共に子どもを育てる「学校運営協議会制度」を、平成25年度から日下小学校、日高中学校にも導入しております。子どもたちは、地域から学び、地域を愛し、そして地域を豊かにさせる力になる人に育ってほしいと願っております。



議  
会  
日  
誌

3 / 11	仁淀消防組合の 消防庁舎起工式 横山	24	能津小学校卒業証 書授与式 森下(雅)	22	能津小学校教職員 歡送迎会 尾崎・森下(雅)	19	期成同盟会総会 尾崎 第33回高幡町村議 会議長会総会 尾崎	29 / 30	都道府県会長会・ 共済会代議員会・ 互助会代議員会・ 全国町村議員会館 臨時理事会及び評 議委員会 尾崎
12	日高中学校卒業証 書授与式 尾崎・森下(雅)	27	例月現金出納検査 野村	23	日高村行政連絡協 議会 全議員 高岡郡町村監査委 員協議会定期総会 野村	21	吉野川・那賀川合 同総合水防演習 尾崎	31 / 6 / 1	全国町村議会議長 ・副議長研修会 尾崎・西川 日高村障がい者福 祉大会 森下(雅)
17	加茂中学校卒業証 書授与式 西川 加茂中学校卒業証 書授与式 西川 議会広報発行調査 特別委員会 西川・戸梶・岡 本・野村・森下 (芳)	29	定期監査 野村 春の交通安全運動 打ち合わせ会 尾崎	27	伊野地域安全協会 通常総会・役員会 尾崎	24	緊急雇用創出臨時 特別基金事業調査 特別委員会 森下(雅)・森下 (芳)・西川・壬 生・戸梶・(尾 崎)	5	第17回緊急雇用創 出臨時特別基金事 業調査特別委員会 森下(雅)・西川 ・壬生・戸梶・ (尾崎)
21	第5回志国高知幕 末維新博推進協議 会 尾崎	4 / 4	高知県町村議会議 長会要望活動(高 知県知事等に) 尾崎	28	例月現金出納検査 野村	26	総務常任委員会 森下(雅)・森下 (芳)・尾崎・野 村・横山	7	日高村農業委員会 尾崎
22	日高村佐川町学校 組合議会議 尾崎・西川	7	佐川高等学校入学 式 尾崎	28	例月現金出納検査 野村	26	総務常任委員会 森下(雅)・森下 (芳)・尾崎・野 村・横山	8 / 14	日高村議会議第2回 定例会・議員全員 協議会 壬生
23	日下小学校卒業証 書授与式 尾崎	15	日高中学校・日下 小学校教職員歡送 迎会 尾崎・森下(雅)	10	日高村農業委員会 壬生	29	経済建設厚生常任 委員会 壬生・西川・戸 梶	17	第37回日高村ふく しふれ愛運動会 尾崎
	加茂小学校卒業証 書授与式 西川 第176回四国地区町 村議会議長会会長 尾崎	21	議会広報発行調査 特別委員会 西川・戸梶・岡 本・野村・森下	16	日高村人権教育研 究協議会総会 尾崎	29	高知県監査委員研 修会・総会 野村	19	高知県町村議会議 長・副議長会及び 理事会 尾崎
		17	国道33号整備促進 尾崎	17	国道33号整備促進 尾崎				

# 編集後記

先日、研修で2度目の起震車による震度7の揺れを3分間体験し、揺れの激しさと恐ろしさを体感した。自分の体が宙に浮く激しい揺れと3分間我慢する長さには恐怖を感じた。岡村高知大学名誉教授の寄稿の中に「地震は自然現象。それを災害にするのは、建物を建て、倒れる物を身辺に置く人なのだ。たった3分間の揺れに耐える。たった半日の津波をやり過ごす。高知で暮らす時間の中で地震を災害にしない方法はいくらでもある。熊本地震から1年が経つのを機に、肝に命じた」とあった。1995年の阪神淡路大震災、2000年の鳥取県西部地震、2005年の福岡県西方沖地震、2016年の熊本地震と、南海トラフ地震の想定震源域を取り囲むように、マグニチュード「7」クラスの地震活動が続発している。南海トラフ地震まで残り時間が少なくなると、防災には事前の対策が全てである。自分の命をその時に守れるのは自分自身であり、心しておきたい。まだ間に合うから…。

先日、研修で2度目の起震車による震度7の揺れを3分間体験し、揺れの激しさと恐ろしさを体感した。自分の体が宙に浮く激しい揺れと3分間我慢する長さには恐怖を感じた。岡村高知大学名誉教授の寄稿の中に「地震は自然現象。それを災害にするのは、建物を建て、倒れる物を身辺に置く人なのだ。たった3分間の揺れに耐える。たった半日の津波をやり過ごす。高知で暮らす時間の中で地震を災害にしない方法はいくらでもある。熊本地震から1年が経つのを機に、肝に命じた」とあった。1995年の阪神淡路大震災、2000年の鳥取県西部地震、2005年の福岡県西方沖地震、2016年の熊本地震と、南海トラフ地震の想定震源域を取り囲むように、マグニチュード「7」クラスの地震活動が続発している。南海トラフ地震まで残り時間が少なくなると、防災には事前の対策が全てである。自分の命をその時に守れるのは自分自身であり、心しておきたい。まだ間に合うから…。



6月25日(日)の村内一斉清掃

次回議会は、9月7日(木)午前10時に開会の予定です。お気軽に、傍聴にお越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

## 議会広報発行調査特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 戸梶 章
- 委員 岡本 光男
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文

## 発行責任者

- 議長 尾崎 政廣

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。